



総合知を示す。

第108回 平成20年春季

東京大学公開講座

[バランス]

私たちの世界は
バランスが
取れているだろうか

1

4月5日 (土) 13:30~16:35

"心のバランス"

開講にあたって

13:30~13:40 生源寺真一 企画委員長 / 農学生命科学研究科長

心の適応と不適應のバランス

13:40~14:25 丹野義彦 総合文化研究科 教授

子どものバランス・家族のバランス

14:45~15:30 中釜洋子 教育学研究科 准教授

ニューロイメージングで観て診るストレスに対するこころのバランス

15:50~16:35 笠井清登 医学系研究科 講師

2

4月12日 (土) 13:30~17:10

"アンバランスから新たな状態へ"

世界エネルギー需給とバランス

13:30~14:15 山地憲治 工学系研究科 教授

強光子場における分子のダイナミカルバランス

14:25~15:10 山内 薫 理学系研究科 教授

ダイナミックな太陽 -磁気バランス変動がおこす太陽大気爆発-

15:30~16:15 横山央明 理学系研究科 准教授

複雑系としての渋滞

16:25~17:10 西成活裕 工学系研究科 准教授

3

4月26日 (土) 13:30~16:25

"様々な価値基準を どのようにバランスさせるか"

法的思考におけるバランス

13:30~14:15 長谷部恭男 法学政治学研究科 教授

「ワーク・ライフ・バランス」について考える。

14:35~15:20 水町勇一郎 社会科学研究所 准教授

効率と公平 -税制改正におけるバランス

15:40~16:25 井堀利宏 経済学研究科 教授

4

5月10日 (土) 13:30~17:10

"生態系のバランスと種の変遷"

カオスがつくるバランスと進化

13:30~14:15 池上高志 総合文化研究科 准教授

作物栽培におけるバランス -イネとコメ-

14:25~15:10 山岸順子 農学生命科学研究科 准教授

生態系のバランスの崩壊：シカと外来種問題

15:30~16:15 宮下 直 農学生命科学研究科 准教授

水産資源の変動とバランス -魚種交替-

16:25~17:10 青木一郎 農学生命科学研究科 教授

5

5月17日 (土) 13:30~16:30

"ビジュアルなバランスの中に 在るもの"

スポーツにおけるフォームとバランス

13:30~14:15 渡會公治 総合文化研究科 准教授

(アン)バランスの美学

14:25~15:10 小田部胤久 人文社会系研究科 教授

ルネサンス美術における美とバランス -アルブレヒト・デューラーを中心に

15:30~16:15 秋山 聡 人文社会系研究科 准教授

閉講の挨拶

16:15~16:30 小宮山 宏 東京大学総長

会 場：東京大学 安田講堂(文京区・本郷キャンパス)

対 象：成人一般・大学生・高校生

定 員：1,000人

受講料：全講義(5日間)一括申込 4,000円 選択(1日)1,000円

※高校生及び東京大学の学生は無料

申込受付：平成20年2月15日(金)から

申込方法：このパンフレットに記載の手順に従ってお申込みください。

※やむを得ない事情によりプログラムを変更する場合があります。
ご了承ください。

お問合せ Eメール: kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp 電話:03-3815-8345

http://www.u-tokyo.ac.jp/gen03/d04_01_j.html (東京大学ホームページ→社会人・一般の方へ→公開講座・講演会)

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 本部広報グループ内 財団法人 東京大学総合研究会

CG: Yoichiro Kawaguchi



(財)東京大学総合研究会

—— 開講にあたって ——



社会のいろいろな分野で、過度に単純化された言説がもてはやされ、さまざまな要素に配慮した判断が軽視される傾向があります。バランス感覚の後退と言ってよいでしょう。一方、周囲を見渡してみると、身体の不調や不安定な心に悩んでいる仲間が少なくありません。悩みはバランスの失調から来ていることが多いようです。絵画や建築物のような人間の創り出す作品についても、しばしばバランスの美しさが高く評価されます。あるいは、人間の活動による自然生態系の攪乱も、回復能力を超えたバランスの破壊という見地から問題視されています。

バランスは、個としての人間、集団としての社会、人間の創造物、人類を取り巻く環境のいずれの領域においても、大切な役割を果たしています。けれども、そもそもバランスとはいったい何を意味するのでしょうか。それぞれの文脈で使われているバランスは、単一の概念のもとに括れるものでしょうか。しかも、バランスの取れた状態がつねに好ましいというわけでもありません。停滞していた旧来のバランスのほころびから、新しい活力が生み出される例も少なくないはずです。

私たちが日ごろなにげなく口にするバランスという言葉ですが、案外奥行きのあるコンセプトなのです。今回の公開講座では、さまざまな切り口からバランスの本質に迫ってみたいと思います。幸いなことに、東京大学は文系と理系の多くの専門分野の研究者がバランスよく組織された総合大学です。こうした東京大学ならではの企画をエンジョイしていただければ幸いです。

おわりに蛇足をひとこと。英語のバランスには残高あるいはお釣りという意味があります。貴重な時間を割いて聴講された皆さんが、大きなプラスのバランスを手にし、満足されることを願いながら、今回の講座を企画した次第です。

平成20年2月
第108回東京大学公開講座企画委員会

委員長 **生源寺 眞一**

(東京大学大学院農学生命科学研究科長)

講師講義内容の概要

4月5日(土) 心のバランス

13:40~14:25

心の適応と不適応のバランス

総合文化研究科・教授 **丹野 義彦**

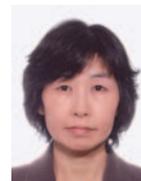


うつや不安といった心理病理は、不適応と適応の両面があり、そのバランスをとることが大切です。うつには、うつ病という不適応の面と、休息をとったり物事の見方を現実的にしたりといった適応の面があります。不安にも、不安障害という不適応面と、危険を避け行動が慎重になるという適応的な面があります。こう考えると、心理病理を除去してしまうのではなく、心理病理をコントロールしながら共存していければよいわけです。こうした立場に近い心理療法が「認知行動療法」です。

14:45~15:30

子どものバランス・家族のバランス

教育学研究科・准教授 **中釜 洋子**



不登校やひきこもり、思春期やせ症など、子どもの臨床的問題が後を絶ちません。子どもを取り巻く大人たちが手を貸すことで、子どもの心の揺れ動きを、成長の糧となる穏やかなものへと収めたいものですが、そんな意図にもかかわらず、バランス崩しの片棒を担いでしまったり、家族自体が既にバランスを欠いた状況が少なくありません。子どもや家族の心の「バランス」とは何か、肯定的変化をいかに生み出してゆくか、お話したいと思います。

15:50~16:35

ニューロイメージングで観て診るストレスに対するこころのバランス

医学系研究科・講師 **笠井 清登**



心理的なストレスに対して、脳はどのようにバランスを保っているのでしょうか。ニューロイメージングという脳の様子を非侵襲的に知る方法を用いた研究から、われわれの脳がストレスを防御するしくみや、その破綻によって生じるこころの病の機序がわかってきました。また、ストレスに耐えるこころの発達には、遺伝的素因と環境因が相互作用的に影響していることも明らかとなりました。本講義では、ストレス適応・破綻にかかわる脳の機構についてご紹介いたします。

4月12日(土) アンバランスから新たな状態へ

13:30~14:15

世界エネルギー需給とバランス

工学系研究科・教授 山地 憲治

中国やインドなどの需要の急増や不安定な中東情勢を背景に石油価格が高騰し、エネルギー資源の争奪戦が始まっている。エネルギーは文明社会の基盤であり、その需給バランスは国家の安全保障に直結している。また、安価な石油が資源枯渇に直面していることに加えて、世界のエネルギー需給は地球温暖化など地球環境容量とのバランスも問われている。エネルギー安全保障から見た世界の需給バランスとともに、資源・環境の有限性とエネルギー需給とのバランスについて考える。



14:25~15:10

強光子場における分子のダイナミカルバランス

理学系研究科・教授 山内 薫

我々は、光を使って、自然界の理解を深めてきました。そして、光を使って、反応を起こすなど、光は多岐に利用されています。一方、近年の光技術の進歩は、光にまったく新しい役割を与えました。それは、「光と物質が混合した新しい状態」を実現するという役割です。これは、光の強度を非常に高くすることによって可能となりました。そこでは、弱い光では決して起きない新奇な現象を起こさせることができますし、光の場の強度、パルス時間幅、パルスの形状などの光の性質を制御することによって、物質の状態を制御することができます。また、強光子場を利用して、アト秒領域の超短パルス光(1アト秒は、10のマイナス18乗秒)を生成することも可能となり、新しい研究領域が次々と広がっています。本講義では、この強光子場科学の最前線を分かりやすく紹介します。



15:30~16:15

ダイナミックな太陽 ー磁気バランス変動がおこす太陽大気爆発ー

理学系研究科・准教授 横山 央明

太陽の大気では、高温なガスが電離プラズマ状態にあり、そこを流れる電流と磁場との相互作用により、さまざまな活動現象がみられる。なかでもフレアは、わが太陽系最大級のエネルギー解放現象である。太陽大気中で磁気力のバランスしたガスの力学平衡状態が、その釣り合いを失い爆発的に熱が発生すると考えられている。観測衛星「ひので」による最新の観測映像を使って、フレアをはじめとする多彩な太陽活動を紹介する。



16:25~17:10

複雑系としての渋滞

工学系研究科・准教授 西成 活裕

「渋滞」という言葉で何を連想するでしょうか。高速道路の大渋滞の光景が目には浮かびますが、実は車だけが渋滞するわけではありません。通勤電車での人の混雑は人の渋滞といえるでしょう。また、アリの混んでくると遅くなりますし、ケータイがつながりにくいか、工場で在庫がたまるか、さらには我々の体の中にも渋滞があり、様々な病気と関係しています。この広く渋滞現象を考える学問を私は渋滞学と名づけました。渋滞を複雑系としてとらえ、最新の数理科学を用いた渋滞解消研究を紹介します。



4月26日(土) 様々な価値基準をどのようにバランスさせるか

13:30~14:15

法的思考におけるバランス

法学政治学研究科・教授 長谷部 恭男

法律学では、さまざまな価値、利益、理由等のバランスをはかりながら結論を出します。そうした価値、利益、理由等は、一つの物差しの上に並べて重みを計測することができない、比較不能なものであることがしばしばあります。この講義では、法律学がそうした価値、利益、理由等を考慮して結論を出す際に使う道具立てや、そうした道具立てを使う背景について紹介します。



14:35~15:20

「ワーク・ライフ・バランス」について考える。

社会科学研究所・准教授 水町 勇一郎

いま日本では「ワーク・ライフ・バランス」が大切だということがさかんにいわれている。なぜいまこのことが日本でさかんにいわれているのか? そしてどのようにしてそれを進めていけばよいのか? 「ワーク・ライフ・バランス」について考えることは、女性の活用や少子化問題だけでなく、正社員の働きすぎ、正社員と非正社員の格差問題など、現在の日本の深刻な労働問題を解く鍵を提供してくれるかもしれない。欧米における営為との比較を通じて、日本の労働問題の根本にあるものについて考えることにしたい。



15:40~16:25

効率と公平 ー税制改正におけるバランス

経済学研究科・教授 井堀 利宏

効率性と公平性の2つの基準は、経済政策を評価する上で基本的な概念である。効率性は経済活力を促進することにつながり、公平性は格差の是正に配慮する。グローバル化、高齢化が進行するわが国の経済社会環境では、これら2つの基準は相反する結果をもたらしかねない。最近の税制改正を具体例に取り上げて、効率性と公平性のバランスをどのように図るのが望ましいのか、また、実際にはどちらに重点が置かれているのかを考えてみたい。



5月10日(土) 生態系のバランスと種の変遷

13:30~14:15

カオスがつくるバランスと進化

総合文化研究科・准教授 池上 高志

われわれの世界は不安定性で予測不能です。だからその代表例であるカオス (chaos) は目の敵にされがちですが、実はこのカオスが生命の基本的な性質である「恒常性」(ホメオスタシス=バランス) に役立っているのです。

しかし生命のホメオスタシスは、単に「同じものを一定に保つ」のではなく、多様性を作り出す源になっているのです。そこが温度を一定に保とうとする電化製品のサーモスタットとの違いです。当日は、一見矛盾するカオスとバランス、その進化へのつながりを一緒に考えたいと思います。



14:25~15:10

作物栽培におけるバランス -イネとコメ-

農学生命科学研究科・准教授 山岸 順子

作物栽培においては、①収量が多いこと、②品質がよいこと、③農作業者の負担とコストが少ないこと、④環境に優しく安全であること、の4つが求められている。しかし、これらの間には、しばしば1つに重きを置くと他が成り立たず、バランスを取ることが非常に難しい。そこで、イネの栽培を例にして、これらの成立過程と歴史的な変遷、および現代におけるバランスのあり方について解説する。



15:30~16:15

生態系のバランスの崩壊：シカと外来種問題

農学生命科学研究科・准教授 宮下 直

生態系は大気や土壌、水などの非生物的環境要素と、多種多様な生物群集との相互作用により維持されている。生態系は地史的な時間スケールでは変遷を続けているが、我々が生活する生態的時間スケールでは一般に安定していると見なされてきた。しかし、近年さまざまな人間活動に由来する要因により、そのバランスが大きく崩れ始めている。本講演では、人が持ち込んだ外来生物や、人為的環境変化が原因と考えられるシカの増加が、生態系に与える影響を生物間の相互作用の観点から概説する。



16:25~17:10

水産資源の変動とバランス -魚種交替-

農学生命科学研究科・教授 青木 一郎

世界の海における様々な水産資源が気候・海洋の長期変動に基因して十年~数十年のスケールで大きく変動することがわかってきた。この変動は環境レジームに対応して卓越魚種が交替することを伴う。減る資源があれば必ず一方で増える資源がある。これが海の資源生物生産のバランスという自然の摂理であるとするれば、単一種のみに目を向けるのではなく複数種を統合した資源利用を図ることが理にかなっている。今、その賢い利用法が求められている。



5月17日(土) ビジュアルなバランスの中に在るもの

13:30~14:15

スポーツにおけるフォームとバランス

総合文化研究科・准教授 渡會 公治

一流のスポーツ選手の動きには美しいという評価が下る。美しい動きの背景には身体の構造に無理のないフォームとバランスのとれた身体がある。いつぼう、名選手をめざして猛練習を重ねる中でスポーツ障害がおこる。障害を起こさないために必要なものは何か。スポーツ医科学の知識を学ぶこと、バランスのとれたトレーニングである。メディカルチェックや症例などの例を示しスポーツ医学から見たバランスのよい身体とフォームについて述べたい。



14:25~15:10

(アン)バランスの美学

人文社会系研究科・教授 小田部 胤久

バランスという語は中世後期のラテン語の bilanx に由来する。lanx は「皿」を意味する名詞、bi- は「二つ」を意味する接頭辞であり、ここから二つの皿を持つ「天秤」という語義が生じた。バランスとは、天秤に典型的に認められるように、釣り合いをとるプロセスのうちになりたつ。一見するとアンバランスに見えるものも、このプロセスのうちではバランスの構成要素となる。それどころか、このプロセスこそ、バランスの基本をなす。こうした事態を、いくつかの美学理論を参照しつつ、具体的な芸術現象に即して考察する。



15:30~16:15

ルネサンス美術における美とバランス -アルブレヒト・デューラーを中心に-

人文社会系研究科・准教授 秋山 聡

「美とは何であるか、私は知らない」とはドイツのルネサンス期を代表する画家デューラーの言葉です。彼はイタリアにおいてルネサンス美術の息吹に触れながらも、異なる文化的伝統を引くが故に、全てをそのままに受け入れることができませんでした。しかしやがて、相対的審美観に基づいた独自の美術論を構築することとなります。そこでは「均衡」という概念が大きな役割を果たしていました。その経緯を、具体的な作例を示しながらお話ししたいと思います。



受講申込書 (事前申込用)

※コピー可

※ご記入いただいた情報は、個人情報に関する法律に基づき管理し、公開講座、講演会以外の目的には使用しません。

ふりがな		年齢		歳
氏名		性別	男	女
学生の場合	学校名	高校		年
		大学		
現住所 連絡先	〒 —			
	電話 —			
職業	会社員 ・ 公務員 ・ 教員 ・ 自由業 ・ 自営業 ・ 大学生 ・ 高校生 ・ 主婦 ・ 無職 ・ その他			
希望受講日に○を記入		申込締切日(必着)	受講料(高校生・東大生は無料)	
4月 5日 (土)		3月26日 (水)	1,000円	
4月 12日 (土)		4月 2日 (水)	1,000円	
4月 26日 (土)		4月 16日 (水)	1,000円	
5月 10日 (土)		4月 30日 (水)	1,000円	
5月 17日 (土)		5月 7日 (水)	1,000円	
全講義 (5日間)		3月26日 (水)	4,000円	
			合計受講料 ¥	

※記入漏れのないようご確認願います。

※締切日に間に合わない場合は、当日申込みをご利用ください。ただし、満員の際はご容赦下さい。

<お届けする払込用紙で、コンビニ・郵便局で簡単にお支払いができます。>

1. ■郵送・FAX

「受講申込書」(この用紙・コピーでも可)に必要事項をご記入の上、下記申込み先へ郵送またはFAXでお送りください。

■インターネット

東京大学の公開講座のページにアクセスし、所定の手順に従ってお申込みください。
(東京大学ホームページ→社会人・一般の方へ→公開講座・講演会)

■携帯電話

QRコード対応機種の場合は、下のQRコードを読み取り、所定の手順に従ってお申込みください。直接URLを入力してもアクセスできます。
URL : http://posh.jp/u-tokyo_ex

(2月15日受付開始)

高校生、東大生は1.で申込み完了です。
当日学生証をお持ちください。

2. 受講券と一体となった払込用紙を、ご記入いただいた住所に郵送します。(お申込みから1~2週間程度でお手元に届きます。)

3. お手元に届いた払込用紙にて、お近くのコンビニまたは郵便局から受講料をお支払いください。(受講日の2日前までにお支払いください。)

4. 当日は、払込用紙の受領書を受講券の裏に貼り付けて、会場へ持参してください。

※紛失など不都合がある場合は、当日受付(ヘルプデスク)にお申し出ください。



●申込み先

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本部広報グループ内
(財)東京大学総合研究会

FAX : 03-3816-3913 HP : http://www.u-tokyo.ac.jp/gen03/d04_01_j.html
(東京大学ホームページ→社会人・一般の方へ→公開講座・講演会)

お問い合わせ 03-3815-8345 (直通)

東京大学公開講座受講のご案内

〈講義当日〉

- ・講義当日は受付が大変混み合いますので、お早めにお越しください。(開場：12時30分予定) 当日会場にて「講義要項」を配付します。
- ・講義時間は多少延長・短縮されることがありますので、あらかじめご了承ください。

〈キャンセル・返金〉

お申込み後のキャンセルはご遠慮ください。
原則として払込み後の返金はできませんので、あらかじめご了承ください。

〈修了証書〉

全講義一括で受講を申し込まれた方が3日以上出席された場合は、ご希望により修了証書を差し上げます。詳細は講義当日配付の「講義要項」でご確認下さい。

〈よくある質問〉

・難易度はどのくらいですか？

公開講座の受講者は、初心者から専門知識を持つ方まで、様々です。
講義内容は、全体的には初心者から多少専門知識を有する方向けの内容となりますが、各講師の最先端の研究内容を連携させ構成されています。従って、専門的な知識を持つ方に対する内容も含まれます。

・受講資格・試験などがありますか？

ありません。どなたでも参加できます。

・受講者の年齢層は？

近年50歳以下とそれ以上の方々の割合は同等となっており、若い方々も多数参加しています。

東京大学への経路

■地下鉄利用

[本郷三丁目] 丸ノ内線・大江戸線
[湯島・根津] 千代田線
[東大前] 南北線

■バス利用

【御茶ノ水駅】
茶51駒込駅行又は東43荒川土手行→
東大正門前下車
学07東大構内行→東大構内バス停車

【上野駅及び御徒町駅】
都02大塚駅行又は上69小滝橋車庫前行→本郷三丁目駅下車(御徒町駅のみ)
学01東大構内行→東大構内バス停車

